

前 金	部 分 払
有	—

令 和 3 年 度  
水 一 水 施 第 3 号

## 白山八対野ポンプ場場内整備工事設計書

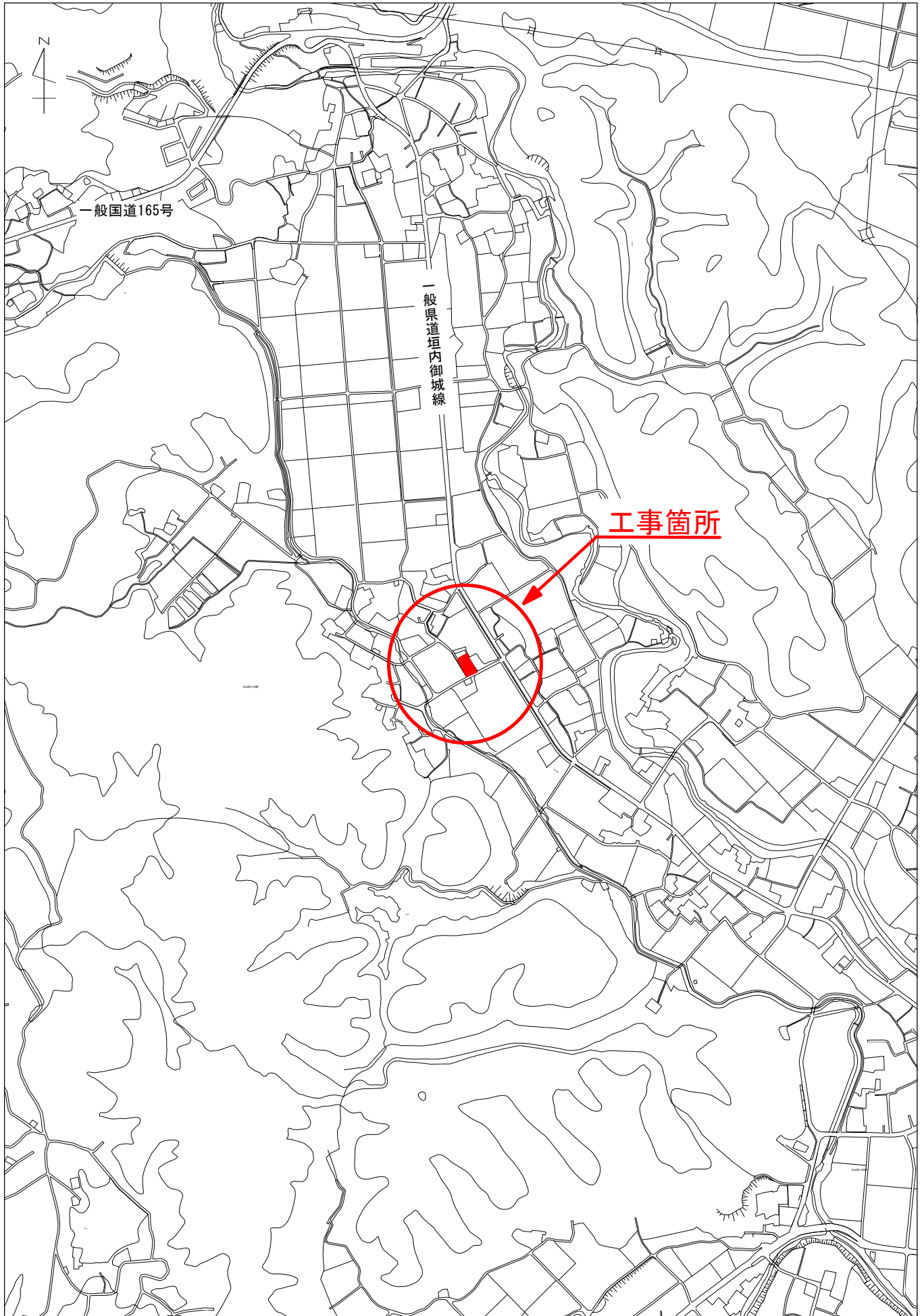
工事仕様は特記以外は三重県公共工事共通仕様書  
及び工事監督員の指示による。

津市上下水道事業局  
一 志 事 業 所

令和3年度	水一水施 第3号	工 事 設 計 書	
施工場所	津市 白山町八対野 地内	所 長	
		検 算 者	
工 事 名	白山八対野ポンプ場場内整備工事	担当副主幹	
		担 当	
設 計 額	(うち消費税等相当額 ¥ )	設 計 者	
工 期	令和 4年 2月28日限り		
支出科目	款	水道事業費用	
	項	営業費用	
	目	配水及び給水費	
工 事 の 大 要			
1	張りコンクリート	297	m <sup>2</sup>
2	側溝工	99.0	m
3	柵工	129.0	m

# 位置図

令和3年度水一水施第3号  
白山八対野ポンプ場場内整備工事



1:10,000

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事 規格	当初	事業区分		数量増減	摘要
			工事区分	数量		
基盤整備						
敷地造成工				1		
掘削工				1		
掘削	土質土砂; 施工方法上記以外(小規模); 施工数量小規模(標準)			1		
残土処理工				1		
土砂等運搬	土質土砂(岩塊・玉石混り土含む)			1		
施設整備				1		
雨水排水設備工				1		

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事 規格	当初		事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備	摘要
		単位	今回数量			
作業土工		式	1			
床掘り	土質土砂	m3	1			
埋戻し	土質区分土砂; 土質RC-40	m3	1			
側溝工		式	1			
プラスチックU型側溝	1種 U字溝180 リサイクル認定品	m	99			
集水樹・マンホール工		式	1			
プラスチック集水樹	会所樹450	箇所	2			
園路広場整備工		式	1			

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事 規格	当初	事業区分		摘要
			工事区分	数量増減	
工事区分・工種・種別・細別	規格	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装撤去工			1		
舗装版切断	舗装版種別コクリート舗装版; 舗装厚 100 mm		1		
コクリート構造物取壊し	構造物区分無筋構造物; 工法区分機械施工		1		
殻運搬	種別Co殻 無筋		1		
殻処分	殻種別コクリート殻(無筋)		1		
舗装準備工			1		
不陸整正	補足材なし		297		
コクリート系舗装工			1		

## 工事数量総括表

工事区分・工事種別・細別	令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事	当初		事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備	摘要
		単位	前回数量			
下層路盤	路盤材種類再生カマヤン RC-40; 仕上り厚100mm	m2		297		
張りコンクリート	18-8-25BB t=10cm 溶接金網φ6 150×150	m2		297		
目地板	目地板の種類瀝青質目地板t=10	m2		7		
型枠	一般型枠 均しコンクリート	m2		3		
管理施設整備工		式		1		
柵工		式		1		
フェンス設置	ネットフェンスH=1800 基礎ブロック式	m		129		
構造物撤去工		式		1		

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事	当初			事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備
		規格	単位	今回数量		
防護柵撤去工			式		1	
フェンス撤去		ネットフェンスH=1500	m		129	
電気設備撤去工			式		1	
照明灯撤去		GL8~12m 重量350kg以下 割増なし	基		6	
構造物取壊し工			式		1	
コンクリート構造物取壊し		構造物区分無筋構造物; 工法区分機械 施工	m3		1	
殻運搬		種別Co殻 無筋	m3		1	
殻処分		殻種別コンクリート殻(無筋)	m3		1	



## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事 規格	当初		事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備	摘要
		単位	今回数量			
運搬処理工		式				
現場発生品運搬	発生材種類 スクラップ	回		1		
仮設工		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員	B	人日		5		
雑工		式		1		
雑工		式		1		
間話コンクリート	小型構造物 人力打設 18-8-25(高炉)	m3		3		

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事 規格 一般型枠 均しゴカリート	単位	当初		事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 施設整備	摘要
			前回数量	今回数量			
型枠		m2		10			
排水接続		式		1			
仕切弁ブロック調整工		箇所		3			
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費		式		1			
技術管理費		式		1			
土質等試験費		式		1			

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別 共通仮設費(率計上)	工事名 令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事	規格	単位	当初		事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 共通仮設費	摘要
				前回数量	今回数量			
純工事費			式		1	数量増減		
現場管理費			式		1			
工事原価			式		1			
一般管理費等			式		1			
スクラップ評価額			式		1			
工事価格			式		1			
消費税相当額			式		1			

### 工事数量総括表

工事区分・工事種別・細別	令和3年度水一水施第3号 白山八村野ポンプ場場内整備工事 規格	単位	当初		今回数量	事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 共通反設費	数量増減	摘要
			前回数量	今回数量					
工事費計		式			1				

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
敷地造成工	掘削工	掘削	土砂 単位数量計算書参照			
			$A = 581.33 + 54.70 + 22.46 - 6.4 - 1.45$ $- 0.97 - 1.28 - 2.51 - 4.46 - 6.84$ $- 0.3 - 0.29 - 0.29 - 0.28 - 255.34$ $- 42.86$ $V = 335.22 \times 0.20$	$= 335.22$ $= 67.04$	m2 m3	67.0
雨水排水設備工	残土処理工	土砂等運搬	土砂 掘削より 床掘より			
			$V = 67.04 + 28.94$	$= 95.98$	m3	96.0
	作業土工	床掘り	土砂 標準横断面図参照			
			$V = 0.28 \times 27.9$ (No.0+1.7~No.2+6.2) $V = 0.30 \times 23.8$ (No.2+6.2~No.5) $V = 0.27 \times 51.8$ (No.0-2.9~No.4+8.9)	$= 7.81$ $= 7.14$ $= 13.99$ <b>合計</b> $= 28.94$	m3	28.9
		埋戻し	RC-40 標準横断面図参照			
			$V = 0.22 \times 27.9$ (No.0+1.7~No.2+6.2) $V = 0.18 \times 23.8$ (No.2+6.2~No.5) $V = 0.21 \times 51.8$ (No.0-2.9~No.4+8.9)	$= 6.14$ $= 4.28$ $= 10.88$ <b>合計</b> $= 21.30$	m3	21.3
	側溝工	プレキャストU型側溝	1種U180 平面図参照			
			$L = 47.8 + 51.3$	m	99.1	

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
園路広場整備工	集水柵・マンホール工	プレキヤスト集水柵	会所柵450 平図面参照 N= 1.00 + 1.00	= 2.00 箇所	2.0	
			舗装撤去工	コンクリート版 t=10cm L= 23.80 (No.2+6.2~No.5)	= 23.80 m	23.8
	舗装準備工	不陸整正	コンクリート構造物取壊し	コンクリート版 t=10cm 標準横断面図参照 V= 23.80 × 0.04 (No.2+6.2~No.5)	= 0.95 m3	1.0
			殻運搬	V= 23.80 × 0.04 (No.2+6.2~No.5)	= 0.95 m3	1.0
			殻処分	V= 23.80 × 0.04 (No.2+6.2~No.5)	= 0.95 m3	1.0
			舗装準備工	補足材なし 張りコンクリート展開図参照 A= 549.77 + 50.03 + 20.13 - 6.4 - 1.45 - 0.97 - 1.28 - 2.51 - 4.46 - 6.84 - 0.3 - 0.29 - 0.29 - 0.28 - 255.34 - 42.86	= 296.66 m2	296.7
	コンクリート系舗装工	下層路盤	RC-40,t=10cm 張りコンクリート展開図参照 A= 549.77 + 50.03 + 20.13 - 6.4 - 1.45 - 0.97 - 1.28 - 2.51 - 4.46 - 6.84 - 0.3 - 0.29 - 0.29 - 0.28 - 255.34 - 42.86	= 296.66 m2	296.7	

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		張りコンクリート	コンクリート18-8-25BB、t=10cm、溶接金網φ6 150×150 張りコンクリート展開図参照 A= 549.77 + 50.03 + 20.13 - 6.4 - 1.45 - 0.97 - 1.28 - 2.51 - 4.46 - 6.84 - 0.3 - 0.29 - 0.29 - 0.28 - 255.34 - 42.86 = 296.66	m2	296.7
		目地材	瀝青質目地板 t=10mm 平図面参照 A= 1.20 + 1.69 + 0.36 + 0.43 + 1.38 + 1.19 + 0.34 + 0.34 + 0.20 = 7.13	m2	7.1
		型枠	キヤドより 北側+南側 A=( 21.50 + 5.90 ) * 0.10 = 2.74	m2	2.7
管理施設整備工	柵工	フェンス設置	ネットフェンス H=1800 基礎ブロック450*200*200 平図面参照 L= 129.20 = 129.20	m	129.2
構造物撤去工	防護柵撤去工	フェンス撤去	ネットフェンスH=1500 L= 129.20 = 129.20	m	129.2
		照明灯撤去	N= 6 = 6.00	基	6.0
		コンクリート構造物取壊し	無筋コンクリート 既設基礎 V= 129.2 / 2.0 + 1.0 基礎数 = 65.6 = 66 個 66.00 × 1.045 × 0.20 × 0.20 ) = 1.19	m3	1.2

数量計算書				
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	数量
	運搬処理工	殻運搬	無筋コンクリート V= 1.19	= 1.19
		殻処分	無筋コンクリート V= 1.19	= 1.19
仮設工	交通管理工	現場発生品運搬	ネットフェンス H4 kg/m W= 129.2 × 8.16 / 1000	= 1.1t
			H1 kg/m W= 5.0 × 9.12 / 1000 × 6 本	= 0.3t = 1.32
雑工	雑工	交通誘導警備員		=
			間詰コンクリート	18-8-25BB,t=10cm ネットフェンス基礎ブロッグ控除 V= 0.02 × 27.9 (No.0+1.7~No.2+6.2) V= 0.06 × 23.8 (No.2+6.2~No.5) V= 0.02 × 51.8 (No.0-2.9~No.4+8.9) 合計 3.03
		型枠	キヤドより 西側+北側+東側 A=( 51.00 + 21.50 + 24.20 ) * 0.10	= 9.67
				5.0
				3.0
				1.2
				1.2
				1.0
				9.7



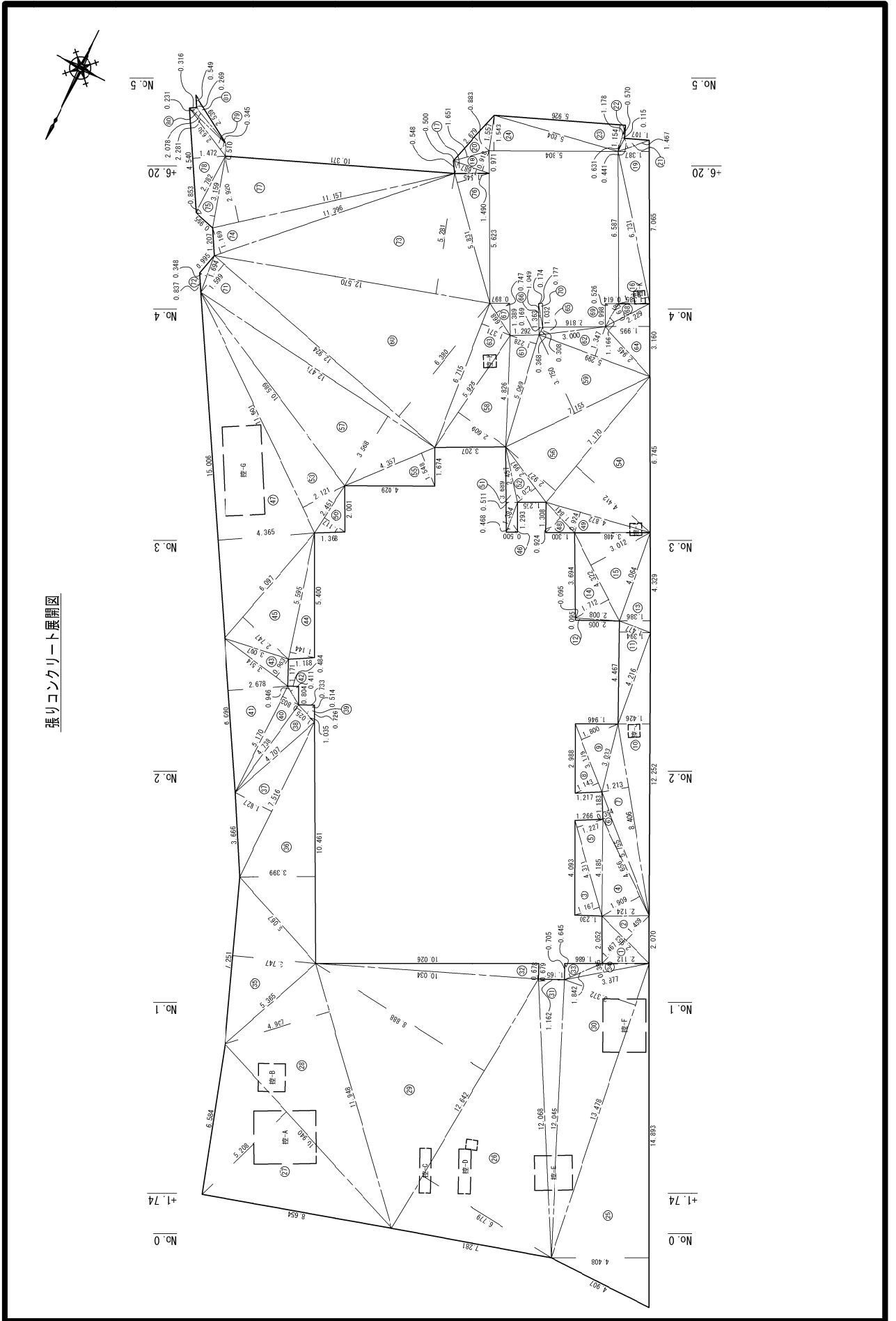
数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
共通仮設費	技術管理費	排水接続	既設側溝への接続 VUφ150 L=0.4+0.4=0.8m 排水接続2箇所	式	1.0
		仕切弁ブロック調整工	N= 3	箇所	3.0
スクラップ評価額	スクラップ評価額	土質等試験費	キヤスポル地耐力試験 1試験	式	1.0
		スクラップ控除	H4 W= 129.2 × 8.16 / 1000 H1 W= 5.0 × 9.12 / 1000 × 6 本	式	1.0

# 單位數量計算書

細別 規格	掘削工	單位	數量	算式	單位	數量
名稱	名稱	算式	算式	名稱	單位	數量
	掘削工					
	<p style="text-align: center;">             控除A=6.40m<sup>2</sup>    控除B=1.45m<sup>2</sup>    控除C=0.97m<sup>2</sup>    控除D=1.28m<sup>2</sup>    控除E=2.51m<sup>2</sup>    控除F=4.46m<sup>2</sup>    控除G=6.84m<sup>2</sup>    控除H=0.30m<sup>2</sup>    控除I=0.29m<sup>2</sup>    控除J=0.29m<sup>2</sup> </p> <p style="text-align: center;">             控除L=255.34m<sup>2</sup>    控除M=42.86m<sup>2</sup>    控除K=0.28m<sup>2</sup> </p> <p style="text-align: center;">             掘削工 581.33m<sup>3</sup>    掘削工 54.70m<sup>3</sup>    掘削工 22.46m<sup>3</sup> </p>					

張りコンクリート展開図



張りコンクリート展開図

記号	底辺	高さ	巻面積 m <sup>2</sup>
1	2.953	1.467	4.332
2	2.953	1.489	4.397
3	4.311	1.167	5.031
4	4.656	1.909	8.888
5	4.311	1.227	5.290
6	5.755	0.994	2.827
7	8.406	1.213	10.196
8	3.179	1.143	3.634
9	3.179	1.600	5.122
10	12.252	1.426	17.471
11	4.467	1.394	6.227
12	2.008	0.095	0.191
13	4.329	1.396	6.000
14	4.322	1.712	7.399
15	4.322	3.012	13.018
			巻面積 m <sup>2</sup> 100.063
			面積 m <sup>2</sup> 50.032

記号	底辺	高さ	巻面積 m <sup>2</sup>
16	6.731	1.356	9.127
17	1.697	0.500	0.844
18	1.697	0.918	1.549
19	7.065	1.397	9.795
20	2.079	0.893	2.366
21	1.467	0.441	0.647
22	1.178	0.115	0.135
23	5.926	1.154	6.839
24	5.894	1.543	9.046
			巻面積 m <sup>2</sup> 40.262
			面積 m <sup>2</sup> 20.131

記号	底辺	高さ	巻面積 m <sup>2</sup>
25	14.893	4.408	65.648
26	12.642	6.779	85.700
27	10.940	5.208	56.976
28	11.848	4.907	58.629
29	12.642	8.988	112.362
30	13.276	3.272	46.446
31	12.986	1.162	14.023
32	10.034	0.678	6.803
33	1.842	0.645	1.188
34	3.877	0.385	1.493
35	7.251	3.747	27.169
36	10.461	3.399	35.557
37	7.516	1.827	13.732
38	4.738	1.025	4.856
39	1.695	0.614	0.632
40	5.170	0.903	4.152
41	6.898	2.978	17.337
42	0.946	0.411	0.389
43	3.514	0.963	3.384
44	5.955	1.144	6.401
45	6.097	2.747	16.748
46	1.384	0.646	0.646
47	15.006	4.365	65.501
48	1.841	0.924	1.701
49	4.872	0.924	4.502
50	2.461	1.117	2.738
51	3.869	0.511	1.985
52	2.897	1.022	3.063
53	11.601	2.121	24.606
54	7.170	4.412	31.634
55	4.367	1.648	6.745
56	7.170	2.927	20.987
57	12.471	3.566	44.497
58	5.925	2.609	15.458
59	7.155	3.750	26.831
60	12.924	6.380	82.455
61	5.869	1.226	6.225
62	5.300	1.347	7.133
63	6.715	1.371	9.206
64	3.160	1.995	6.304
65	3.900	0.308	0.924
66	1.363	0.169	0.230
67	1.668	0.747	1.246
68	2.229	0.618	1.378
69	1.166	0.526	0.613
70	1.849	0.174	0.183
71	12.924	1.694	20.665
72	1.694	0.348	0.590
73	12.570	5.281	66.362
74	11.996	1.169	13.322
75	3.159	0.853	2.695
76	5.831	1.490	8.688
77	11.157	2.920	32.578
78	4.840	1.472	6.683
79	2.630	0.345	0.907
80	2.281	0.231	0.527
81	2.539	0.249	0.683
			巻面積 m <sup>2</sup> 1009.546
			面積 m <sup>2</sup> 549.773

張りコンクリート展開図  
(控除箇所)



控-A

記号	底辺	高さ	側面積
控-1	3.604	1.776	6.401
控-2	3.604	1.774	6.393
		側面積	12.794
		面積	6.297

控-B

記号	底辺	高さ	側面積
控-3	1.705	0.853	1.454
控-4	1.705	0.853	1.454
		側面積	2.908
		面積	1.454

控-C

記号	底辺	高さ	側面積
控-5	1.993	0.481	0.959
控-6	1.993	0.481	0.971
		側面積	1.930
		面積	0.965

控-D

記号	底辺	高さ	側面積
控-7	1.966	0.534	1.050
控-8	1.966	0.366	0.720
控-9	1.908	0.168	0.326
控-10	0.436	0.077	0.034
控-11	0.511	0.239	0.122
控-12	0.495	0.149	0.074
控-13	0.523	0.400	0.225
		側面積	2.551
		面積	1.278

控-E

記号	底辺	高さ	側面積
控-14	2.248	1.117	2.511
控-15	2.240	1.119	2.516
		側面積	5.027
		面積	2.514

控-F

記号	底辺	高さ	側面積
控-16	3.006	1.487	4.470
控-17	3.000	1.480	4.449
		側面積	8.919
		面積	4.460

控-G

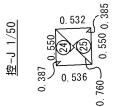
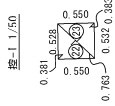
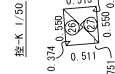
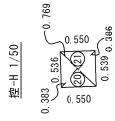
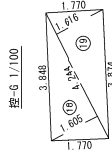
記号	底辺	高さ	側面積
控-18	4.244	1.605	6.812
控-19	4.244	1.016	4.306
		側面積	13.670
		面積	6.635

控-H

記号	底辺	高さ	側面積
控-20	0.769	0.383	0.295
控-21	0.769	0.396	0.307
		側面積	0.592
		面積	0.298

控-I

記号	底辺	高さ	側面積
控-22	0.763	0.381	0.291
控-23	0.763	0.383	0.292
		側面積	0.583
		面積	0.292

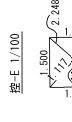
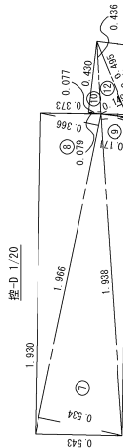
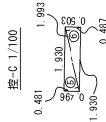
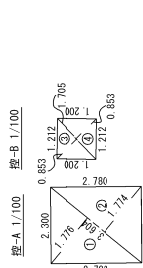


控-J

記号	底辺	高さ	側面積
控-24	0.760	0.387	0.294
控-25	0.760	0.385	0.293
		側面積	0.587
		面積	0.294

控-K

記号	底辺	高さ	側面積
控-26	0.751	0.374	0.281
控-27	0.751	0.376	0.282
		側面積	0.563
		面積	0.282



## 特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の施工にあたっては、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に準じて行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に優先する。 <input checked="" type="checkbox"/> 本工事はすべて設計図書（図面、仕様書並びに現場説明書及び現場説明に対する質問解答書を含む）によるほか、津市契約規則及び津市建設工事執行規則により執行する。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書において疑義が生じた場合は監督員の指示による。
		<input checked="" type="checkbox"/> 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めのない工種は、監督員との協議による。 <input checked="" type="checkbox"/> 選任を必要とする作業においては、作業主任者等を配置し、必要な資格者一覧を作成するとともに免許の写しを提出するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中の安全確保のため、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛作業者など）の一覧を作成しその資格証の写しを提出するものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。
		<input checked="" type="checkbox"/> 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に報告するものとする。 <input type="checkbox"/> 工事区間内の境界は、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、調査資料は監督員へ1部提出するものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。 <input type="checkbox"/> 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、鉄板等にて対応するものとする。 <input type="checkbox"/> 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の工期は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。
		<input type="checkbox"/> 施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事着手前はもとより、工事期間中を通じて、必要の都度、工事内容を地元住民及び通行人等関係者に周知し、工事への協力を求めるための文書を配布するなど必要な措置を講ずるものとする。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物の対応について、各管理者と監督員の立会のもと、試掘調査を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所付近に占用物件が予想される場合には、工事施工に先立って地下埋設（上空占用を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、受注者より各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び上空占用物を誤って切断した場合の緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。
		<input type="checkbox"/> 他の工事等と重複する場合も考えられるため、施工時期や交通規制等に綿密な調整を図り、十分な配慮をもって施工するものとする。
<input checked="" type="checkbox"/> 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届け等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。		
工程	関係機関協議	
官公庁への手続き等		

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。  
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
<p>用地・補償関係</p>	<p>事業損失</p>	<p>□ 家屋事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。                  □ 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。ただし、その内容によっては、市と受注者が協議し、市が処理する場合もある。</p>
	<p>民地の保全</p>	<p>□ 官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鉄、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。                  □ 工事により境界杭等が破損、亡失した場合は、工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。</p>
<p>安全対策</p>	<p>工事中の安全確保</p>	<p>□ 施工箇所において、通学路であった場合は、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。                  □ 資機材の搬出入と通行時間は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難しい場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。                  □ 地山掘削・床掘時は、既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。                  □ 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。                  □ 工種（ ）において、施工日の即日開放を原則とする。                  □ 工種（ ）において、事前に（ 警察署）と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。                  □ 現場にて使用する各種建設機械は、持込者や点検・整備・維持管理状況が把握できるよう、受注者において書類により整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。                  □ 現場において設置する仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。                  □ 現場代理人は、豪雨、出水、その他の天災に対しては、平素から気象情報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておくものとする。                  □ 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所はその日のうちに補修を行うものとする。</p>
<p>交通安全管理</p>	<p>交通安全管理</p>	<p>□ 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差点道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとする。                  □ 交通誘導警備員のうち1人は有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかる1級又は2級検定合格者）または、交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。                  □ 受注者は、交通誘導警備員を雇用するにあたり、その警備会社と雇用期間中等労働条件並びに傷害保険等に関する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。                  □ 交通誘導警備員に一日一日の工事（どこまで進入できるか等）を十分把握させ、地元車両の出入り等、交通整理に円滑な処置がとれるようにするものとする。</p>

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

## 特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	<input checked="" type="checkbox"/> 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に防塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。
資料作成	提出書類	<input checked="" type="checkbox"/> 工事日誌については、監督員が指示した場合、提出するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4） <input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書の提出部数は2部とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。 ・アスファルト混合物（事前認定審査を受けた混合物の認定書の写し）、生コンクリート（製造会社の材料試験結果、配合の決定に関する確認資料）、購入土、碎石（新材）等 ※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。
	部分下請負通知書	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の一部において下請負させる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業者等と読み替え、下請業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。 <input type="checkbox"/> 特定建設業者で下請負金額の総額が、建設法第3条第1項第2号の政令で定める金額以上の場合、受注者は、本工事をつかさどる監理技術者の資格証明書の写しを提出するものとす。
支払いに関する事項	前金支払いに関する事項	<input checked="" type="checkbox"/> 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めるときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。

（注）上記条件及び内容の印刷当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。  
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。



特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）												
その他	名札	<p><input checked="" type="checkbox"/> 発注者は、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。</p> <p style="text-align: center;">＜名札の例＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;"><b>主任・監理技術者</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">写 真</td> <td style="padding: 2px;">氏 名</td> <td style="padding: 2px;">〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2cm×3cm 程度</td> <td style="padding: 2px;">工 事 名</td> <td style="padding: 2px;">〇〇〇〇工事</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 2px;">工 期</td> <td style="padding: 2px;">自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 2px;">会 社</td> <td style="padding: 2px;">〇〇建設株式会社 印</td> </tr> </table> </div> <p>注1）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 注2）所属会社の社印とする。</p>	写 真	氏 名	〇〇 〇〇	2cm×3cm 程度	工 事 名	〇〇〇〇工事		工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日		会 社	〇〇建設株式会社 印
写 真	氏 名	〇〇 〇〇												
2cm×3cm 程度	工 事 名	〇〇〇〇工事												
	工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日												
	会 社	〇〇建設株式会社 印												
	部分使用	<input type="checkbox"/> 部分使用箇所（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用時期（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用目的（ ）												
	部分引渡し	<input type="checkbox"/> 部分引渡し指定部分（ 別途説明書に記載 ） <input type="checkbox"/> 部分引渡し時期（ ）												
	巡回	<input checked="" type="checkbox"/> 当工事（修繕）は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等を行う現場パトロールを行うことがある。												
	その他	<input type="checkbox"/>												

（注）上記条件及び内容の印刷当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	<p>□ 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名： ）</p> <p>□ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり</p> <p>□ 工期</p> <p>□ 他機関との協議が未完了</p> <p>□ 占用物件との工程調整の必要あり</p> <p>□ その他（ ）</p>	<p>□ 調整項目（ □ 資材等の流用 □ 仮設及び工事用道路等の調整 □ 建設機械等の調整 □ 施工順序の調整 □ その他（ ） □ 別途協議 ）</p> <p>□ 制限する工種名（ ） 施工時期及び施工時間（ ） 施工方法（ ）</p> <p>□ 工期は、繰越手続が完了後、（ ）年（ ）月（ ）日までに変更します。 協議完了見込み時期（ ）</p> <p>□ 協議が必要な機関名（ ） □ その他（ ）</p> <p>□ 占用物件名（ □ 電気 □ 水道 □ ガス □ その他（ ） ）</p> <p>□ その他（ ）</p>
用地関係	<p>□ 用地補償物件の未処理箇所あり</p> <p>□ 仮設ヤードの有無</p> <p>□ その他（ ）</p>	<p>□ 未処理箇所（ □ 別添図等 □ No. ～No. □ 別途協議 ）</p> <p>□ 完了見込み時期（ □ 令和（ ）年（ ）月頃 □ 別途協議 ）</p> <p>□ 仮設ヤード（ □ 官有地 □ 民有地 □ その他（ ） □ 別途協議 ）</p> <p>□ 仮設ヤード使用期間（ ）</p> <p>□ 仮設ヤードからの運搬距離（L＝ km）</p> <p>□ 使用条件・復旧方法（ ）</p> <p>□ その他（ ）</p>
公害対策関係	<p>☑ 施工方法の制限あり</p> <p>□ 事業損失防止に関する調査あり</p> <p>□ その他（ ）</p>	<p>☑ 制限項目（ □ 騒音 □ 振動 □ 水質 □ 粉じん □ 排出ガス □ その他（ ） □ 別途協議 ）</p> <p>□ 施工方法等（ □ 指定工法名（ ） □ その他（ ） □ 別途協議 ）</p> <p>□ 施工時期（ ）</p> <p>□ 調査項目（ □ 騒音測定 □ 振動測定 □ 水質調査 □ 近接家屋の事前・事後調査 □ 地盤沈下測定 □ 地下水位等の測定 □ その他（ ） □ 別途協議 ）</p> <p>□ 調査方法（ □ 別途資料 □ その他（ ） □ 別途協議 ）</p> <p>□ その他（ ）</p>
安全対策関係	<p>☑ 交通安全施設等の指定あり</p>	<p>☑ 交通安全施設等の配置（ □ 別添図等 □ その他（ ） □ 別途協議 ）</p> <p>☑ 交通誘導警備員の配置（ □ 別添図等 □ その他（ ） □ 別途協議 ） □ 指定路線 ☑ 指定路線以外</p> <p>☑ 交通誘導警備員の配置人員数 概算人数による算出 A： 人 B： 5人</p> <p>① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 （注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。）</p> <p>② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。</p> <p>③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 □ 積上げによる算出 配置人員数（ 人 ）（うち交通誘導警備員A（ 人 ）） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。）</p> <p>☑ 交通誘導警備員の配置時間（別途協議）</p> <p>☑ 交通誘導警備員の配置期間（別途協議）</p> <p>☑ 交通誘導警備員配置の対象工種（別途協議）</p>

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 近接施設等に対する制限 <input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり <input checked="" type="checkbox"/> 現場での安全確保（自主施工の原則） <input checked="" type="checkbox"/> 事故速報の提出 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 既存施設あり ・近接公共施設（ ） ・近接施設（ ） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 <input type="checkbox"/> 工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ） <input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置（ ） <input type="checkbox"/> 保安要員の配置（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたいうえで、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 一般道路（搬入路）の使用制限あり <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容（ ） <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ ） <input type="checkbox"/> 用地及び構造（ ） <input type="checkbox"/> 安全施設（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設備の設置条件あり <input type="checkbox"/> 水替工（縮切排水工） <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件（ ） <input type="checkbox"/> 転用あり（ ） <input type="checkbox"/> 兼用あり（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 施工条件の指定なし <input type="checkbox"/> 施工条件の指定あり ① 水替工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用いて作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定められた実績日数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 構造及び設計条件（ ） <input type="checkbox"/> 施工方法（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
建設発生土・産業廃棄物関係	<input type="checkbox"/> 建設発生土受入地の指定あり	<input type="checkbox"/> 受入地の条件（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> 運搬距離（L= km） <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり 産業廃棄物の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> コン塊 <input type="checkbox"/> アス塊 <input type="checkbox"/> 木材 <input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> その他（ ） 産業廃棄物の処分地（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場（ ） <input type="checkbox"/> 最終処分場（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者等に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
工事支障物件関係	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 工事支障物件あり	<input type="checkbox"/> 支障物件名（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 移設時期（ <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 防護（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり	<input type="checkbox"/> 設計条件（ ） 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ） <input type="checkbox"/> 削孔数量（ ） 注入量（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 工法関係（ ） 材料関係（ ）
	<input type="checkbox"/> 提出書類あり	<input type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認 <input type="checkbox"/> その他（ ）
再生材使用関係	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材の種類（ <input type="checkbox"/> 再生Asコン <input type="checkbox"/> 再生路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシュシャーラン <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂（ ） <input type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置（ <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1購入先当たり1機体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。） <input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。 （認定製品の品名： <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> サンドクッション材 <input type="checkbox"/> 上層路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート二次製品 <input type="checkbox"/> グレーチング <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： 間伐材製工事用バリエード・看板・標示板） <input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
そ の 他	<input type="checkbox"/> 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり <input type="checkbox"/> 現場発生品あり <input type="checkbox"/> 支給品あり <input type="checkbox"/> 盛土材等工事間流用あり <input type="checkbox"/> 現場環境改善費適用工事 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ） <input type="checkbox"/> 時期（令和 年 月 日） その他（ ） <input type="checkbox"/> 運搬方法（ <input type="checkbox"/> 受注者で運搬 <input type="checkbox"/> 受注者以外で運搬 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 引渡場所（ <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 数量（ ） 運搬距離（L = km） <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（率分）（ ） <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（積上）（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
適 用 条 件	<input checked="" type="checkbox"/> 適用条件	<p><input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和3年7月1日））</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-2 第22項中「電子メールなどの署名または押印が不要な手段により」とあるのは「電子メールなどにより」と、第26項「書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、署名または押印したものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、搬出、報告、通知が行われた工事帳票については、署名または押印がなくても有効とする。」とあるのは「書面とは、工事打合せ簿等の工事帳票をいい、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、搬出、報告、通知が行われたものを有効とする。」とある。</p> <p><input type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「受発注者間の協議における回答予定日を明確にする取組」対象工事に係る特記仕様書 令和2年8月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「工事監理連絡会」対象工事に係る特記仕様書 令和2年8月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> ※設計図書の照査完了後、実施について監督員と協議すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 支援技術者</p> <p>1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示一（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているため、その支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場で立会、視察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制台帳、計画書、報告書、データ、図面等）の審査に申し説明を求められた場合は、説明に応じなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。</p> <p>2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。</p> <p>3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。</p> <p>4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者：</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合せ簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については監督員の指示によるものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合せ簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書に準拠すること</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	内容及び内容
監督の区分 共通仕様書 第3編3-1-1-6 第6項、第10項 に規定する 表3-1-1(1)、 表3-1-1(2)	一般監督 (ただし、 低入札価格調査制度の調査対象工事となっ た場合は、全ての工種を重点監督とする。) 重点監督	重点監督の場合【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェクし、対象工種名を記入すること。】 全ての工種に適用する。 対象工種 ( ) ※これ以外は、一般監督とする。
電子納品	工事完成図書(工事写真含む) 電子納品対象外	工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、( ) 2部 ( ) 部とする。 三重県CALS電子納品運用マニュアル(令和 3年 7月改訂)を適用
地質調査の 電子成果品等	地盤情報データベースの登録の必要あり	検定及び登録機関(一般財団法人国土情報センター (https://ngic.or.jp/)) (注：受注後、これにより難しい場合は設計変更の対象とする。)
産業廃棄物税	産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ 作成・登録	コリンズ (CORINS) の作成・登録	三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ (CORINS) の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設 発生土情報交換シ ステム	建設副産物情報交換システム 建設発生土情報交換システム	三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムへのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	下請企業の次数制限	本工事における下請の次数は、2次(建築一式工事は3次)までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
特例監理技術者の 設置	特例監理技術者の設置	本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定(監理技術者(特例監理技術者)の配置)を適用する。なお、配置を行う場合は、追加特記仕様書「特例監理技術者等の配置」に示す要件を全て満たさなければならない。(三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照)
配慮依頼事項	下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製 品の使用 建設機械、機器等の借入れ 使用人等において市民の活用	下請契約又は再委託(一次下請以降のすべての下請人又は再委託者含む。)が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等に おいて市内本店事業者を活用することに配慮すること。 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮するこ と。 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
津市公契約条例	津市公契約条例に関する特記	締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の事務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場に おける合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するとき、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務 所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者(以下「市長等」という。)が行う報告の求め及び立入検査 その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件内容及び内容
津市公契約条例		<p>2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。                      (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。                      (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。                      (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。                      (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。                      (5) 特定公契約にあっては、別紙誓約事項に違反したとき。</p>
	<p>労働環境の確保に係る誓約事項</p>	<p>津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について「承し遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。</li> <li>関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。</li> <li>条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。</li> <li>労働者が条例第9条第1項の規定による報告をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。</li> <li>労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。</li> <li>労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。</li> <li>市長等が行う施策に協力すること。</li> </ol>
社会保険等未加入対策	社会保険等未加入対策（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	<p>適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。                      受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。</p>
法定福利費の負担	法定福利費を明記した標準見積書の活用	<p>法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積りに法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用を努めること。                      （津市HP「仕事・産業一人札・契約一人札・建設コンセンサスタント関係一調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）</p>
暴力団等の不当介入の排除等	暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	<p>締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保するための必要な事項を定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>受注者の義務                         <ol style="list-style-type: none"> <li>契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。</li> <li>暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。</li> <li>暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。</li> <li>本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。</li> <li>捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。</li> <li>受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。</li> </ol> </li> <li>入札参加資格者等及び受注者等に対する措置                         <ol style="list-style-type: none"> <li>入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づき指名停止措置を講ずるものとする。</li> <li>上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。</li> </ol> </li> <li>契約等の解除                         <ol style="list-style-type: none"> <li>暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。</li> </ol> </li> </ol>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受け事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等</p>	<p>☑ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に関する特記</p>	<p>☑ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下により徹底を図るものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の方が触れる箇所の定期的な消毒、手洗いや換気など、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。</li> <li>2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場等における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、元請事業者をはじめ、下請事業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことと作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。</li> <li>3 工事等の関係者が「特定警戒都道府県」から作業等に従事する必要がある場合は、受発注者で協議を行い、感染拡大防止のための感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。</li> <li>4 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。</li> <li>5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。</li> <li>6 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講じること。なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。</li> <li>7 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更の必要があると認めるときは、津市工事請負契約第19条（設計図書の変更）の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとし、これを認めるものとする。</li> </ol>
<p>ワンデーレスポンス</p>	<p>☐ ワンデーレスポンスの実施</p>	<p>☐ この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。</p> <p>「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>なお、質問・協議等にあたっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。</li> <li>3 受注者は三重県公共工事共通仕様書「1-1-3 設計図書の照査等」に基づき、適切に設計図書の照査を実施すること。</li> <li>4 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。</li> <li>5 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。</li> </ol>
<p>その他</p>	<p>☑ その他</p>	<p>☑ その他（パリケード等の設置）</p> <p>施工時に、フェンスを取り外すことから部外者が、施設内に立ち入れないようにパリケード等で保護すること。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。



## 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書

### 1 趣旨

津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。

しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。

このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。

### 2 発注者及び受注者の責務

- (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。
- (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。

### 3 定義

- (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合等など利害関係者の代表者を含むものとする。
- (2) 「不当要求行為等」とは、
  - ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為
  - イ 暴力行為、脅迫行為
  - ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為
  - エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為
  - オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為
  - カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為
- (3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。

### 4 工事説明の進め方

- (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、

工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。

- (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関することを、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。
  - (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。
  - (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。
  - (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。
  - (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事实施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。
- 5 不当要求行為等
- (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。
  - (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。
  - (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。